

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載

【部門区分】第 1 部門第 2 区分

【発行日】令和 5 年 9 月 6 日(2023.9.6)

【公開番号】特開 2022-45288(P2022-45288A)

【公開日】令和 4 年 3 月 18 日(2022.3.18)

【年通号数】公開公報(特許)2022-049

【出願番号】特願 2020-150899(P2020-150899)

【国際特許分類】

A 6 3 F 5/04(2006.01)

10

【F I】

A 6 3 F 5/04 6 2 0

【手続補正書】

【提出日】令和 5 年 8 月 29 日(2023.8.29)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

20

【特許請求の範囲】

【請求項 1】

複数のリールと、

前記複数のリールにそれぞれ対応する複数のストップボタンと、

内部抽選を行う内部抽選手段と、

通常区間及び有利区間を制御し、前記有利区間において補助遊技に係る制御を行う補助遊技制御手段と、を備え、

前記内部抽選では、複数種類の当選態様の当否が決定され、

前記複数種類の当選態様には、複数種類の特定当選態様が含まれ、

前記複数種類の特定当選態様には、第 1 配当の小役と、第 2 配当の小役と、の重複当選
が対応付けられ、

30

前記第 1 配当は、前記第 2 配当よりも高く、

前記複数種類の特定当選態様のいずれかに当選し、かつ前記複数のストップボタンが当選した特定当選態様に対応する特定操作態様で操作された場合に、前記第 1 配当の小役が入賞可能であり、

前記複数種類の特定当選態様のいずれかに当選し、かつ前記複数のストップボタンが当選した特定当選態様に対応する特定操作態様とは異なる操作態様で操作された場合に、前記第 1 配当の小役が入賞せず、

前記補助遊技制御手段は、前記内部抽選で前記複数種類の特定当選態様のいずれかに当選した場合に前記第 1 配当の小役の入賞を補助する前記補助遊技を実行可能な状態として
、第 1 状態と、第 2 状態と、を制御し、

40

前記第 1 状態は、前記第 2 状態である場合よりも、前記内部抽選で前記複数種類の特定当選態様のいずれかに当選した場合に前記第 1 配当の小役の入賞を補助する前記補助遊技が実行される確率が高く、

前記補助遊技制御手段は、前記有利区間である場合において、前記補助遊技に係る所定の制御を実行可能であり、

前記第 1 状態においては、前記所定の制御を実行する確率が第 1 確率であり、

前記第 2 状態においては、前記所定の制御を実行する確率が第 2 確率であり、

前記第 1 確率は、前記第 2 確率よりも低い確率であり、

前記複数種類の特定当選態様は、第 1 特定当選態様と、第 2 特定当選態様と、を含み、

50

前記第 1 特定当選態様には、前記第 1 配当の小役を入賞可能にする前記複数のストップボタンの操作態様として第 1 特定操作態様が対応付けられ、

前記第 2 特定当選態様には、前記第 1 配当の小役を入賞可能にする前記複数のストップボタンの操作態様として、第 2 特定操作態様が対応付けられ、

前記第 1 特定操作態様と、前記第 2 特定操作態様と、は、異なる操作態様であり、

前記第 1 特定当選態様に当選し、かつ前記第 1 特定操作態様及び前記第 2 特定操作態様と異なる第 3 特性操作態様で前記複数のストップボタンが、操作された場合と、前記第 2 特定当選態様に当選し、かつ前記第 3 特性操作態様で前記複数のストップボタンが、操作された場合と、で共通の前記第 2 配当の小役が入賞可能となる、

ことを特徴とする遊技機。

10

【手続補正 2】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0 0 0 7

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0 0 0 7】

本発明は、

複数のリールと、

前記複数のリールにそれぞれ対応する複数のストップボタンと、

内部抽選を行う内部抽選手段と、

20

通常区間及び有利区間を制御し、前記有利区間において補助遊技に係る制御を行う補助遊技制御手段と、を備え、

前記内部抽選では、複数種類の当選態様の当否が決定され、

前記複数種類の当選態様には、複数種類の特定当選態様（例えば、当選エリア「打順ベル 1」～当選エリア「打順ベル 4」）が含まれ、

前記複数種類の特定当選態様には、第 1 配当の小役（例えば、ベル A～ベル D）と、第 2 配当の小役（例えば、1 枚役 A～1 枚役 C）と、の重複当選が対応付けられ、

前記第 1 配当は、前記第 2 配当よりも高く、

前記複数種類の特定当選態様のいずれかに当選し、かつ前記複数のストップボタンが当選した特定当選態様に対応する特定操作態様（例えば、当選エリア「打順ベル 1」～当選エリア「打順ベル 4」のそれぞれに設定された正解打順）で操作された場合に、前記第 1 配当の小役が入賞可能であり、

30

前記複数種類の特定当選態様のいずれかに当選し、かつ前記複数のストップボタンが当選した特定当選態様に対応する特定操作態様とは異なる操作態様で操作された場合に、前記第 1 配当の小役が入賞せず、

前記補助遊技制御手段は、前記内部抽選で前記複数種類の特定当選態様のいずれかに当選した場合に前記第 1 配当の小役の入賞を補助する前記補助遊技を実行可能な状態として、第 1 状態（例えば、第 4 A T モード）と、第 2 状態（例えば、第 1 A T モード）と、を制御し、

前記第 1 状態は、前記第 2 状態である場合よりも、前記内部抽選で前記複数種類の特定当選態様のいずれかに当選した場合に前記第 1 配当の小役の入賞を補助する前記補助遊技が実行される確率が高く、

40

前記補助遊技制御手段は、前記有利区間である場合において、前記補助遊技に係る所定の制御を実行可能であり、

前記第 1 状態においては、前記所定の制御を実行する確率が第 1 確率（例えば、3 0 %）であり、

前記第 2 状態においては、前記所定の制御を実行する確率が第 2 確率（例えば、9 0 %）であり、

前記第 1 確率は、前記第 2 確率よりも低い確率であり、

前記複数種類の特定当選態様は、第 1 特定当選態様（例えば、当選エリア「打順ベル 1

50

「」)と、第2特定当選態様(例えば、当選エリア「打順ベル4」)と、を含み、
前記第1特定当選態様には、前記第1配当の小役を入賞可能にする前記複数のストップ
ボタンの操作態様として第1特定操作態様(例えば、打順3)が対応付けられ、
前記第2特定当選態様には、前記第1配当の小役を入賞可能にする前記複数のストップ
ボタンの操作態様として、第2特定操作態様(例えば、打順6)が対応付けられ、
前記第1特定操作態様と、前記第2特定操作態様と、は、異なる操作態様であり、
前記第1特定当選態様に当選し、かつ前記第1特定操作態様及び前記第2特定操作態様
と異なる第3特性操作態様(例えば、打順1、打順2)で前記複数のストップボタンが、
操作された場合と、前記第2特定当選態様に当選し、かつ前記第3特性操作態様で前記複
数のストップボタンが、操作された場合と、で共通の前記第2配当の小役(例えば、1枚
役A)が入賞可能となる、ことを特徴とする。

10

20

30

40

50